

## 第5回 生命科学研究科・ウイルス研究所 学生フェスティバル 概要

学生フェスティバルとは、京都大学大学院生命科学研究科とウイルス研究所の大学院生が中心となり、企画・運営する「学生による学生のための学術交流会」です。昨年度の第4回では、7題の口頭発表、31題のポスター発表、26題の萌芽研究発表が行われ、200人以上の方々にご来場いただきました。演題数・来場者数ともに過去最高となり、研究分野にとらわれない自由な研究交流が行われました。

今年度も、下記要項に従い第5回学生フェスティバルを開催することに致しました。生命科学研究科・ウイルス研究所のみなさまからのご応募をお待ちしております。演題募集につきましては、別添えの募集要項をご確認ください。

<u>開催日時</u>	2009年10月9日（金）10：00～18：00
<u>場所</u>	京大会館（1F、2F）
<u>発表形式</u>	口頭発表、ポスター発表、萌芽研究発表
<u>要旨受付期間</u>	2009年7月31日（金）～ 8月28日（金）
<u>要旨提出先</u>	gakufes_5th@lif.kyoto-u.ac.jp（片山）
<u>ホームページ</u>	<a href="http://www.lif.kyoto-u.ac.jp/festival_5th/">http://www.lif.kyoto-u.ac.jp/festival_5th/</a>

### 第5回 学生フェスティバルの目標

第5回学生フェスティバルでは、「点から線へ～広がれ研究ネットワーク～」をスローガンに掲げています。このスローガンは、様々な分野の研究者と議論を交わすことで得られる考えや意見を各々の研究者が自身の研究にフィードバックするのみに留まらず、研究者間および研究室間の交流を広げることで、自身の専門分野を超えた大きな研究ネットワーク形成を目標としています。研究ネットワーク形成により、普段の研究活動の中で他分野の研究者と議論する機会が増し、結果として自身の研究活動に対してはもちろんのこと、生命科学研究科およびウイルス研究所全体に対して、より良い研究環境を構築する一助となると考えています。

### 企画内容

第5回学生フェスティバルには、通常的口頭発表、ポスター発表、そして萌芽研究発表という発表形式があります。萌芽研究発表とは、始めたばかりの研究の方向性や現在の研究過程を発表する場のことです。発表形式も、多くの学会で行われるポスター発表と違い、ポスターボードを自由に使っていただけます。現段階では発表できるデータが少ない方、

これからの実験について他の人と議論してみたい方、ポスターとまではいなくても学会発表をしてみたい方、是非参加してみませんか。第4回では修士課程1年の方から博士課程の方まで幅広く発表をしていただきました。また活発な意見交換を目指した新たな参加形式を取り入れることも検討しています。

発表の場は、プレゼンテーションスキルを向上させるだけでなく、自分の研究を客観的に考え、他の研究者と議論するチャンスです。さらに、そこでの交流をきっかけに広がるネットワークはあなたの研究に新たな可能性をもたらすのではないのでしょうか。

今回の学生フェスティバルにおける交流が、参加者の今後の研究を発展させるための「きっかけ」になればと思います。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

〈実行委員〉

青島直史（山本研） 阿部昌史（生田研） 片山雄一郎（石川研） 坂下幸子（加藤研）  
常喜儒彦（藤田研） 清木麻季子（土方研） 高橋あゆみ（藤田研） 高橋貴哲（加藤研）  
高松詩穂理（藤田研） 筒井智恵子（土方研） 西川千紘（藤田研） 原知明（井上研）  
播磨有希子（影山研） 東島仁（加藤研） 藤本卓（山本研）